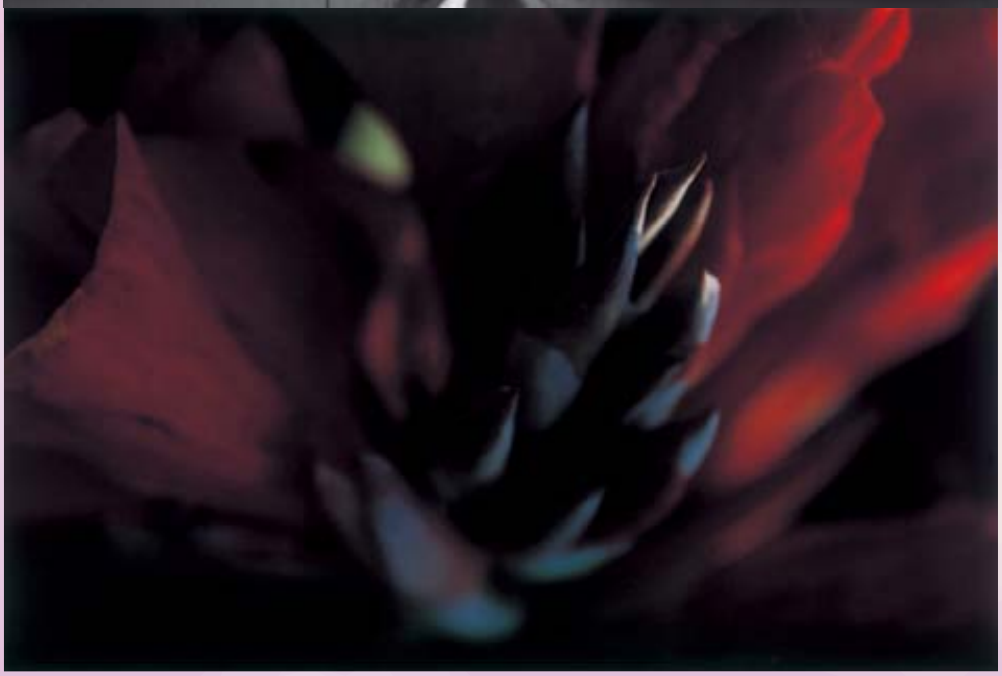
写真部応援マガジン
boys & girls photo magazine
No.264
Top Eye
Winter 2011 12-1

Nikon
At the heart of the image

第161回
TopEye
賞

「Inspire the Next」
長渡 千佳
（大阪府立成城高等学校2年）



デジタル写真スクールVer2.0
第4回 実践レッスン！
学んだワザを使って、
撮りまくれ！

ガンバレ写真部！
毎日モーレツ！でも楽しいッ!!
新潟県・中越高等学校

視想講座 VOL.258
目的に向かって考え抜き、
手を尽くす
木之下 晃

情報ひろば
FRIEND'S EYE
フォトフォトOB/OG訪問
香川県立坂出高等学校OG 中村千咲さん
独立目指して、意欲的に進化中！

おめでとう！
第59回ニッコールフォトコンテスト「U-31部門」に
昨年度TopEye賞受賞者3名が入賞！
Nikon News

Nikon College
ニコンカレッジ

Photo Photo SALON 161st

2011年度 vol.3

審査員　大西みつぐ

1952年東京・深川生まれ。「遠い夏」で第18回木村伊兵衛写真賞受賞。ニッコールクラブ顧問、日本写真家協会会員、東京綜合写真専門学校講師、武蔵野美術大学非常勤講師。

TopEye賞

表紙に大きく載ってるよ!!

「Inspire the Next」 長渡 千佳

大阪府立成城高等学校2年
●デジタル一眼レフカメラ　●18-55mm
●M（1/10秒・f/8、1/400秒・f/5.6）
●ISO800、100

画面はとても暗い色調です。実際にはこれほど「黒く」はなかったはず。しかし2枚とも、写っているものやその背後から連想させるイメージというものに強く働きかける写真になっています。「言葉」に表向きと裏向きの意味があるように、写真映像にも、単に「花」と「顔」という写っているものの意味を越えたものがそこに感じられはしないかということです。タイトルはそのことを雄弁に示しています。そのような点から考えると、この色調だからこそ私たちを思索的にまた内省的にさせてくれるのではないでしょうか。作者は表現力と技術力をほどよくバランスさせ、見応えある作品として結集させました。A1サイズぐらいに大きく並べて、空間の中で鑑賞してみたい作品です。

準TopEye賞

「澄んだ瞳」 岡本 千佳

沖縄県立浦添工業高等学校3年
●D5000　●AF-S DX18-55mm
●M（1/200秒・f/4.5）　●ISO400

偶然にも、トップアイ賞の作者と名前が同じ。しっかりとしたフレーミングとカラーの色調がまず美しい。そしてこちらもまっすぐに「見つめて」います。いや、そうした「しぐさ」や「状態」を撮ったという単純なものでなく、見ることは見られることでもあるような……つまり「見つめられている」ことをも感じさせる作品になっています。作者もコメントに書いたように「男の子の見る先はどんな景色が広がっているのだろう」という果てしない、無限遠のイメージをここに感じることができます。それは可能性だったり、希望だったりと、撮影者である作者もまた大いに感じることのできるものではないでしょうか。

第161回　TopEye賞受賞
長渡 千佳さん
受賞のコトバをどうぞ!!

今回TopEye賞をいただき、とても感激しています。この作品に、変化し続ける自分を例えました。自分のレベルを次のステージへ持っていくぞという思いを込めて作りました。
これから、この先もタイトルのように向上していきたいです。賞を取らせていただいた多くの方々、顧問の先生に感謝しています。本当にありがとうございました。

「悩む」ことこそが表現への道／大西みつぐ

このところ応募される学校がさらに広がっているようで、とても初々しい作品が審査の机いっぱいに並べられます。もちろん１点づつ丁寧に拝見していますが、時々思うのは、直感で「コレ！」というようにプリントをしている人も多いのではないかということです。どうか「選ぶ」という作業を慎重に行なってください。ひとつの被写体に対していろいろ撮ったものを見比べてみること。そして難しいでしょうが、悩みつつ一枚選んでみること。これは組写真の場合も同じです。こうした試行錯誤こそが「表現」への第一関門となるのです。
さて、今回はトップアイ賞と準トップアイ賞が対照的な雰囲気のものになっています。みなさんも好みはそれぞれあるでしょう。しかし結局はそれこそネガとポジの関係かもしれません。「見つめること」、「見つめられること」、共通しているのはそこに人間の意志と写真の力強さが感じられるというところではないでしょうか。2 点とも卓越した表現力と技術力を発揮しています。じっくり味わって欲しいと思います。

入賞作品はニコンイメージングのサイトに掲載！チェックしてみよう！　http://www.nikon-image.com/activity/topeye/　最新の応募用紙もダウンロードできるよ！

入選

「ビ〜〜〜〜ム！！」 平野 佳奈

熊本県・八代白百合学園高等学校2年
●デジタル一眼レフカメラ　●18-135mm　●Aオート（f/5.0）　●ISO400

写真の加工はいけない！という先生もいらっしゃるようですが、クリエイティビティということでいえば、皆さんだからこそ可能なデジタルイメージングの世界もあるのです。非日常的なイメージは、逆に日常を活性化させることもできると思いますし、楽しいことを我慢しているのはよくありません。第一、カメラ自体の機能にも楽しい「効果」があるのですから。ただし、しっかり表現していなくてはなりません。この作品はこの時代の「エネルギー」といったものを皮肉っているようで、批評性もあります。

エプソン賞

「はやくかえろ〜」 宮本 麻美

久留米市立久留米商業高等学校1年
●D3100　●70-300mm　●Aオート（f/7.1）　●ISO200

なんだか大きな声で叫んでいるように見えますが、実際は眠くて大あくびをしているようです。なかなかいい瞬間をとらえることができました。よく見ると後ろのお友達も眠そうです。こんなにきれいで眩しい向日葵畑なのにそうなってしまうところがかわいらしいですね。二人の子どもだけに絞ったことにより、青いシャツのお母さんの表情を連想するというのが楽しいところ。背景の入れた方も含め、望遠ズームレンズを上手に使えています。カメラとの相性がよいのかもしれませんね。

「夫婦の目」 長浜 みさき

沖縄県立南部工業高等学校3年
●デジタル一眼レフカメラ　●18-135mm
●M（1/80秒・f/8）　●ISO400

目利きという言葉があるように、長年の経験が力を発揮させる瞬間。それも御夫婦でというのがいいですね。画面に目一杯、二人がどっしりとした感じで入っていて、それこそ作者は腰の座った撮影であったことがよく分かります。足の間からこれからはじまる競りをよく説明していますし、水揚げ直後の魚の光りぐあいがきれいです。お母さんの右腕がきれてしまったのが少し残念ですが、ここまで迫ってシャッターを押せたことがなかなか素晴らしいと思います。

賞品

TOPEYE賞
ニコンデジタル一眼レフカメラ D3100レンズキット
賞状　受賞者に

エプソン賞
エプソンプリンター EP-804A（もしくはR、AW）
入賞作品のうち1点の作者所属の写真部へ贈呈
※白・赤・黒のいずれか1台となります。カラーはお選びいただけません。
※後日、プリンターのご使用につきましてアンケートにご協力いただくことがございます。

準TOPEYE賞
ニコンデジタル コンパクトカメラ
賞状

入選
ニコンオリジナル カメラバッグ、賞状

佳作
ニコンオリジナル ポーチ、賞状

さ・ら・に

毎回応募で 狙え！年度賞

6-済月号　10-済月号　**12-1月号**　2-3月号

毎回の「入賞ポイント」を学校単位で合計して選出！

受賞ポイント
- TopEye賞 …… 100ポイント
- 準TopEye賞 …… 70ポイント
- 入選 …… 50ポイント
- 佳作 …… 30ポイント
- もうヒトイキDE入賞 …10ポイント
- 皆勤校ポイント ……20ポイント

最優秀賞 合計ポイント1位の学校
優秀賞 合計ポイント2位の学校
敢闘賞 合計ポイント3位の学校

受賞校に ニコンデジタルカメラ、エプソンプリンター、賞状、楯 をプレゼント！

大舞台も待っている！ 毎回のTopEye賞作品は次年度の「ニッコールフォトコンテストU-31（Under31）部門」にノミネート！キミの作品が、さらに大きく羽ばたくチャンスだ！

佳作

「さよならおれんじ」田中 真理子

山口県立下松高等学校1年
●デジタル一眼レフカメラ　●10-22mm
●Sオート（1/250秒）、Aオート（f/9）、Sオート（1/250秒）
●ISO100、100、400

夕方の光りは感傷的になってくるものです。一日の終わりという安堵感はあるものの、太陽は有無をいわせず西の空に落ちていきます。しかしだからこそ、その間際の刹那が美しいのでしょう。作者はひとところに留まらず、カメラとともにしばし逍遥しているようで、とても映像的な組写真となりました。ズームレンズのワイド域の広がりを活かした撮り方でいいなと思います。

「みなとまち おやねことこねこ」藤岡 航希

愛媛県立今治東中等教育学校2年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm
●Aオート（f/5.6）
●ISO100

どこかで、誰かと誰かが、それなりに支え合って暮らしているのですよね。家族も友達も社会もみんな一緒です。夕暮れの港で出会った光景をとても穏やかに美しく写し止めています。距離感がちょうどいいです。背景もうるさくないし、淡い色がいい。カメラは自分を表現するものではありますが、向こうから表現してくれるものに反応するということも可能なのです。藤岡くんはとてもセンシティブなカメラマンでいいなと思います。

「雑談」吉田 薫

新潟県・中越高等学校1年
●デジタル一眼レフカメラ
●70-200mm　●Aオート（f/2.8）
●ISO320

お祭りでしょうか。その割には余裕がありそうで、自然な笑顔が印象的です。望遠ズームレンズを使ったこともあり、背景をしっかりボカしたことで、主題が明確になりました。このメークですから、徹底的に演じてみたくなるものですが、やはりそこに一人の人間性が表現されていなくてはダメなのだと思います。お遊び写真ではないストレートさに期待します。

「HAPPINESS」岸原 穂波

福岡市立福翔高等学校2年
●デジタルコンパクトカメラ　●オート　●ISO320

お姉さんの笑顔はもちろんなのですが、きっとファインダーをのぞいている作者もいい顔していたことと思います。こんなに光がまばゆいということを誰もが実感するひとときを、カメラアングルも上手に切り取れています。お兄さんになる新郎の顔をちょっとのぞかせるところもうまい。デジタルカメラの「白飛び」は御法度なのかもしれませんが、これは全然OKではないでしょうか。

「静閑」安達 美穂

島根県立松江南高等学校1年
●デジタル一眼レフカメラ　●18-250mm
●オート　●ISO200

窓ガラスなの網戸なのか、バッタが一匹貼り付いているだけなのですが、なんとなくもの悲しさが漂っています。モノクロということもありますし、雨ですし、微妙な時間帯のようにも思えます。いわば、一日の時間帯の中の隙間のような空白。だからこそのシャッターだったのかもしれません。そのあたりの詩心が素敵です。コントラストをもう少し弱めて、あるいは微かな室内光をあてて撮れているともっと美しかった。

もうヒトイキ DE 入賞コーナー

なかなか見応えのあるテーマとモノクロームのトーンです。表現として自立しています。惜しいのは左右の写真のイメージの重なり。どちらかを他の要素を持つ写真に変えるだけで、まちがいなく上位入賞の道が開かれるでしょう。

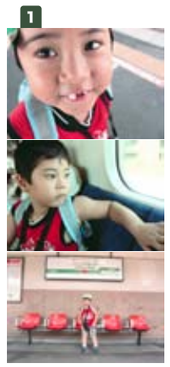
アドバイス

●「Identity」石倉 悠香　大阪府立成城高等学校4年

●「少年カイト」河村 夏菜子　新潟県立六日町高等学校1年

こちらもいいテーマです。こちらも左右の写真が寝ているようなシーンということでやや重なります。それに対して、真ん中の写真の色合いが強くこのオレンジ色にすべて目が奪われてしまいます。写真自体はよいのですが。この作品も組み直してみるといいでしょう。

アドバイス



1

2

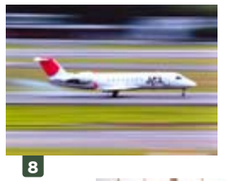
3

4

5

6

7



8

9

10

11

12

13

1	「はじめての電車旅。」	戸邉聖美	千葉県立柏南高等学校2年
2	「ヤドカリの山歩き」	小笠原尚也	神奈川県立霧が丘高等学校2年
3	「大　発　見」	平良明香里	沖縄県立南部工業高等学校3年
4	「日　が　昇　る」	尾形俊太朗	秋田県立秋田南高等学校2年
5	「寝　　息」	野口玲奈	宮城県・聖和学園高等学校3年
6	「それそれそれー!!」	水口亜美	香川県立多度津高等学校2年
7	「もうひとつの世界」	貴島柚布子	東京都・正則高等学校2年
8	「landing」	高村義朗	大阪府・清風中学校2年
9	「ツ　イ　ン」	佐々木七海	鳥取県立境高等学校2年
10	「未　来　予　知」	後村祐哉	東京都立小石川中等教育学校4年
11	「私　の　青　春」	西岡茉琳	香川県立坂出高等学校2年
12	「長生きしてね」	渡辺真友	熊本県・八代白百合学園高等学校3年
13	「美　術　室」	乗原育実	東京都・小野学園女子中学校3年

Photo Photo SALON 年度賞ポイント 中間発表

★1位	沖縄県立浦添工業高等学校	180 ポイント
2位	千葉県立柏南高等学校	170 ポイント
3位	熊本県・八代白百合学園高等学校	150 ポイント
4位	沖縄県立南部工業高等学校	140 ポイント
5位	大阪府立成城高等学校	130 ポイント
6位	新潟県・中越高等学校／埼玉県立芸術総合高等学校	110 ポイント
8位	久留米市立久留米商業高等学校	80 ポイント
9位	新潟県立六日町高等学校／東京都・正則高等学校	70 ポイント

11位以下はこちら　11位(60ポイント)山口県立下松高等学校　12位(50ポイント)静岡県立伊東高等学校／香川県立坂出高等学校　14位(40ポイント)横浜市立洋光台第一中学校／島根県立松江南高等学校　16位(30ポイント)北海道美幌高等学校／岐阜県立多治見高等学校／大阪府立東百舌鳥高等学校／愛媛県立今治東中等教育学校／福岡市立福翔高等学校／鹿児島県鹿屋市立鹿屋女子高等学校　22位(20ポイント)川崎市立川崎総合科学高等学校／宮崎県立宮崎農業高等学校　24位(10ポイント)秋田県立秋田南高等学校／宮城県・聖和学園高等学校／石川県立田鶴浜高等学校／茨城県立緑岡高等学校／茨城県立多賀高等学校／埼玉県立新座総合技術高等学校／埼玉栄高等学校／東京都立小石川中等教育学校／東京都・小野学園女子中学校／神奈川県立霧が丘高等学校／愛知県立津島東高等学校／岐阜県立岐阜総合学園高等学校／大阪府立吹田高等学校／大阪府・清風中学校／兵庫県立宝塚高等学校／鳥取県立鳥取聾学校／鳥取県立境高等学校／香川県立高松商業高等学校／香川県立多度津高等学校

上位校は実力伯仲！
年度賞の栄光はどの学校に？

次回フォトフォトサロンの応募締切は
応募用紙の注意事項をよ〜く確認してね！
2012年1月10日（火）
（当日消印有効）

ガンバレ写真部!!

今回の写真部もすごいよ！新潟県は長岡市、のどかな住宅地に位置する中越高等学校。フォトフォトサロンの審査を毎回にぎわせてくれており、入賞、年度賞などの実績もたっぷりなんですが、それだけじゃない。高文連をはじめ写真関係のいろんな舞台で、タダナラヌ存在感を漂わせている写真部なのです。これはぜひ取材せねば！というわけで、雪深い季節を迎える前に、パワーあふれる面々にお会いしてきました！

毎日モーレツ！でも楽しいッ！！
新潟県・中越高等学校

後列左から：古澤くん、八木くん、五十嵐さん、池津さん、中川さん、佐藤くん、中村くん。
前列左から：岡村先生、堀田さん、桐生さん、峰越さん、吉田さん、伊丹さん、小堺くん、渡辺くん。

部員：21名（3年10名、2年3名、1年8名）
活動：月～土の毎日。夏休み、冬休みに合宿。学校廊下の校内展や、校外の撮影会もたびたび。学校行事を撮影して、学校案内やポスターなどに提供も！長岡市や近隣の三条市などの写真展参加も積極的。老人福祉施設の撮影ボランティアも。
機材：デジタル一眼レフカメラ8台、モノクロ一眼レフカメラ8台。プリンタ2台（顔料＆染料）。部室はないけど、暗室あり。
部費：月1,500円を生徒から徴収。生徒会から年間10万円程度。その他、コンテストの賞金なども運営に充てる（カッコいい！）。
部費節約のポイント：
用紙などのムダを省こう！と部員各自が努力中。合宿先の価格もなるべくセーブ！

あれれ、夕方なのに「おはようございます」？

おはようございます！！

「おはようございまーす！！」午後の訪問にも関わらず、こんな挨拶で迎えられて、一瞬たじろぐ取材班。そう言えば写真スタジオでは、昼夜構わず「おはよう」って言うなあ、と妙に納得。「先生のご指導？」と尋ねると「いやいや」いつの頃からか部に定着した伝統なのだとか。でも「おはよう！」で始まる放課後も、なんかいいよね。にじみ出す個性と自主性を感じるとともに、親しみもふんわか漂う出会いの時でした。

なぜか「背の順」に並んだ新旧幹事。

クールな実力派、元副部長の八木くん。
シャッターの「押し心地」にもこだわる、副部長の中村くん。
物静かだが気配りのきく、部長の古澤くん。
パワーいっぱい！の元部長、五十嵐さん。

ニコニコしててもアナドれない！

部員さんの明るさと軽やかさも印象的です。あいさつが済んで、撮影体験用のニコンD7000を手渡したら、スルリと「フツウの部活」モードに突入。2年の先輩にちょっかい出す1年男子とか、撮影中も何だか笑いが絶えない1年女子群とか、先生に指導されてるのか絡んでるのかわかんない元部長とか。でも、一眼レフカメラの扱いはみな手慣れた様子。「D7000、どう？」と聞いてみると、思わずたじろぐ玄人はだしのコメント続出！やるな、お主ら。

D7000、気に入ってくれました！

グリップ感がいい
操作ミスが出ないような造りになってますね
捉えてる！という感じのシャッター音

校門真正面にある、いい感じの公園でパシャパシャ撮影体験。

名物顧問が、明るくビシバシ！

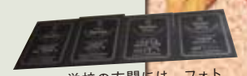
高文連などの活動にも深く関わる岡村先生。イベントではあちこちで呼び止められるだけでなく、有名カメラマンにも「中越高校？ああ、岡村先生の！」と言わせる顔の広さ。そんな先生が率いる中越写真部、はっきり言ってモーレツです。活動は毎日プラス土曜。雑誌「月刊カメラマン」の月例コンテストは何と「毎回必修！」その他の雑誌のフォトコンにも出品しまくり。県のサロン展にも毎年全員出品。高文連行事や地域主催の写真展などにもドンドコ出場。もちろん校内行事の撮影係としても活動。そんな目まぐるしき毎日の中に、経験豊かな先生のアドバイス。そりゃ腕もあがるわ。と深～く納得。

顧問歴約20年の岡村先生は、顔も広いが、知識も深い！

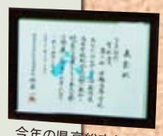
輝いてます！ 中越写真部 最近の実績!!

膨大なので、今年に絞らせていただきました！

○TopEyeフォトフォトサロン
第154回　佳作　　第155回　準TopEye賞
第156回　佳作　　第159回　準TopEye賞
○CAPA月例フォトコンテスト
2011年　6月号　佳作3名　　8月号　佳作
　　10月号　3席　　11月号　佳作3名
○月刊カメラマン 月例フォトコンテスト
2011年　4月号　佳作　　6月号　金賞、銀賞、入選
　　7月号　銅賞　　9月号　佳作
　　10月号　銀賞　　11月号　金賞、銀賞、佳作
○アサヒカメラ月例コンテスト ファーストステップ部門
2011年8月号　入選
○上野彦馬写真コンテスト
2011年　九州産業大学芸術学部写真映像学科奨励賞、入選、佳作各1名
○全日本写真展　2011年　銀賞、銅賞
○写真甲子園　2011年　敢闘賞
○新潟県高文連写真部門展
2011年　モノクロ部門　奨励賞5名
　　カラー部門　優秀賞6名、奨励賞5名
　　共同制作部門　最優秀賞、優秀賞
　　学校団体賞　1位
　　全国大会参加
その他、県高文連主催の撮影大会、合同撮影会でも優秀作多数！
○三条市展　2011年　ホープ賞



学校の玄関には、フォトフォトサロンで勝ち取った賞の楯がズラリ！



今年の県高総文祭で1位獲得！

桐生さん撮影

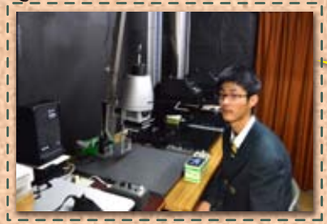
小堺くん撮影

活動が大変な分、達成感が大きい！

今年の3年は、3人が写真関係の進路に進みます！

先生も、先輩も、話しやすくて楽しい！

吉田さん撮影



暗室も絶賛稼動中！！

写真で、社会とつながろう！

学校案内やパンフレットにも部員の写真で協力！

モノクロフィルム写真にもガンガン取り組んでおり、暗室も全部員が普通に使っています。それに、市展などの校外活動を通して、地域とのつながりを育んでいるのも素晴らしい。学校近くのデイケアセンターで、お年寄りの写真を撮ってプレゼントするボランティアもやっているそうです。先生いわく、「写真を通してどんどん社会に出ていく人間になってほしい」なるほど、その一環としてのコンテスト参加でもあるわけですね！「でも出すからにはトップを目指してますよ！」頼もしいなあ。次回のTopEye賞も狙ってくださいね！

八木くんの作品が学校のポスターに採用！

高文連から

「切磋琢磨する環境づくり」

新潟県高等学校文化連盟写真専門部 事務局　井口 智彦

新潟県写真専門部は5月の撮影大会と秋の写真専門部展が主な活動になります。撮影大会は毎年400人ほどの参加者が撮影した作品をその日のうちに現像・プリントしていただき、翌日に投影・審査を行うという大規模なものです。講師の写真家の先生方やメーカーのご協力、そして顧問同士の協力や情報交換が盛んなおかげで15年も継続しています。生徒も他校の生徒から刺激を受けて、よい作品作りのきっかけとなっているようです。

「ガンバレ写真部」に登場しませんか？

このコーナーに登場したい！という写真部（または写真部に準ずる部）は、「ガンバレ写真部取材希望」とお書きの上、
●部のPRポイント　●学校・クラブ名
●学校住所・電話番号　●代表者氏名
を明記して、TopEye編集部までご連絡ください。（連絡先は裏表紙に記載）

デジタル写真スクール Ver2.0 チャレンジ編！ 第4回 実践レッスン！

まずは復習！ プリントのオキテ！！ 作品の検討は、やっぱりプリントしてやりたいね。以下のことに注意しよう！

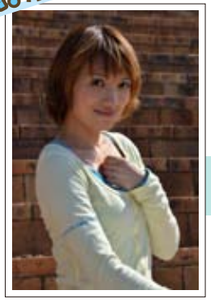
- □ 写真専用用紙を使うべし！
- □ インクジェット式プリンターを使うべし！
- □ 写真にフチ（余白）を設けるべし！
- □ 写真を素手でさわるべからず！

入門編 第6回（2010年4-5月号）で復習だ！

作品1「公園のおねえさん」byトップ

残念！カット

●16-85mm
●Aオート（f/8）
●ISO100

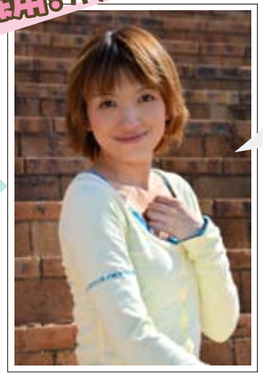


トップ へっへ。きれいなオネエさんと知り合えるのも撮影会の楽しみ。
ニコ まったくもう…。でも顔が暗くて、オネエさんに失礼じゃない？
トップ 順光だとオネエさんがまぶしそうだったから、逆光で撮影したんだけど…
ニコ 前にやったわよね。フラッシュを使えば？

あっそうか！

採用！カット

●16-85mm　●Aオート（f/8）
●ISO100　内蔵フラッシュ使用



トップ おお。オネエさんの笑顔がまぶしいっ。きれいに撮ってあげると、モデルもうれしいんだよ。

伝授！ ポイントは「ライティング」！

晴天の日には影が強くなるので、ライティングはけっこう大事だ。あえて逆光にしてフラッシュを使えば、目にもハイライトが入ってイキイキした表情にできるよ。

入門編 第9回（2010年12-1月号）で復習だ！

作品2「私を見て！」byニコ

いまいちカット

●35mm
●Aオート（f/8）
●ISO100

トップ うわ、一面の花。きれいじゃん。
ニコ うーん、ちょっとウルサイ気もするのよね。
トップ 確かに。「私を見て」って、どこを見ていいのかわかんないな。
ニコ そこでね、やってみたの。思い切って絞りを開放！

ガラッと変わる！

OK！カット

●35mm
●Aオート（f/1.8）
●ISO100
露出補正＋1.0

トップ なるほどお。主役がはっきりしたなあ。
ニコ 露出もちょっと明るくして、プラス1.0にしてみたの。

伝授！ ポイントは「絞り値」と「露出補正」！

前回やった「被写界深度」をさっそく応用だ！絞りを最大に開いた状態（開放）にして、ボケ効果を発揮。花の種類にふさわしくハイキー調にしたのも効いている。

入門編 第8回（2010年10-11月号）＆チャレンジ編 第3回（2011年10-11月号）で復習だ！

おまけのコツ！

こうしたボケ味を活かす写真には「単焦点レンズ」が便利。ズームはできないけど、ピントをしっかり合わせれば細部まで美しく描写できるよ。

学んだワザを使って、撮りまくれ！

さあて今回は、外へ出て撮影会だよ！もちろん、これまで勉強したワザをしっかり活用して、ワンランク上の写真を目指すのだ。なんと言っても実際に写真を撮るのは楽しいし、難しく思えたカメラの設定なども、実際に試してみれば「あ、こういうことだったのか」と納得できるもの。ニコちゃん＆トップくんが自信作を撮ってきたようだから、さっそく見ていこう！

作品3「夕暮れ」byトップ

ありゃりゃ？カット

●18-200mm
●Aオート（F9）
●ISO100
ホワイトバランス：オート

ニコ 何だか傾いててカッコ悪いわねぇ。
トップ ハハ、慌てちゃって。でも問題は色なんだ。もっとキラキラっていうか、しっとりっていうか
ニコ ホワイトバランスって覚えてる？トップくん、「オート」にしっぱなしでしょ？

その手があったか！

完ペキ！カット

●18-200mm
●Aオート（F9）
●ISO100
ホワイトバランス：曇天

トップ ホワイトバランスを「曇天」にしたら、いやったあ！この色だよ！
ニコ 設定一つで全然違ってくるのねえ。

伝授！ ポイントは「ホワイトバランス」！

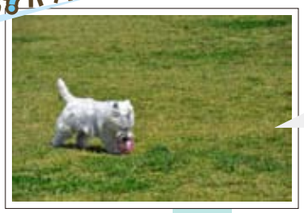
夕焼けの赤など特定の色が強い場合は、補正されて「見た目通り」にならない場合がある。ホワイトバランス一つで結構写真の印象が変わるよ。それから写真の水平、垂直もしっかり守ろう！

第7回（2010年6-9月号）で復習だ！

作品4「持ってきたよ！」byニコ

うぬぬ？カット

●18-200mm →70mmに設定
●Aモード（F5.6）
●ISO100 →シャッタースピードは1/200秒
AF-Sモード使用



ニコ カワイイ犬って、よく動くのよねえ。タイミングが合わなくてボケたり小さくなったり。
トップ グチこぼすなんて珍しいじゃん。お得意の設定で何とかしてみればぁ？
ニコ 言ったわね。見てなさい！

よっしゃあ！！

カワイイ！カット

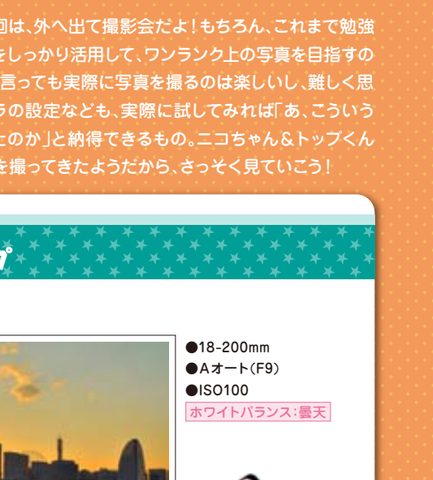
●18-200mm→200mmに設定　●Aモード（F5.6）
●ISO800 →シャッタースピードは1/1600秒
AF-Cモード使用

ニコ どうよ！ズームを望遠側にして、ISO感度を調整してシャッタースピード1/1600！それにAF-Cモードで…
トップ ちょ、ちょっと待って。専門用語多過ぎ…

伝授！ ポイントは「オートフォーカス」！

オートフォーカスのAF-C（コンティニュアス）モードは、被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けてくれる便利な機能。今回のように動き回る被写体にはとても便利だよ。シャッター速度も充分早いからブレもなし。お見事！

チャレンジ編 第2回（2011年6-9月号）で復習だ！



さて次回は、
モノクロ写真をやってみよう！
カラーとはまた違った
奥深さ、面白さがあるぞ。
お楽しみに！

講師／斉藤勝則
イラスト／いぬんこ

視想講座

VOL.258 木之下 晃

目的に向かって考え抜き、手を尽くす

ユーディ・メニューイン

アルフレート・ブレンデル

イヴェット・ジロー

レッド・ツェッペリン

小学生の頃、新聞社の地方記者だった父の暗室作業を見たのが写真の原体験です。目の前で映像が浮かび上がる様子が、驚きと共に心に刻まれました。今も私にとって写真は「水と光の芸術」。6割が撮影、4割が暗室内の現像、焼き付けでつくるものと思っています。

広告会社にいた頃から音楽に興味があり、音楽鑑賞団体のカメラマンもやっていました。ステージの撮影はアングルも照明も制限されますが、音楽を「映像化」するために誰もやっていないことを…と毎回実験です。カメラをブラして照明を音符の形にしたり（右下）、ピアノから歌手へ音が流れる様子を表現したり（左下）。そうして撮りためた作品を自費出版したところ、大きな賞をいただき、フリーへの足がかりを得ました。

クラシックのステージを撮り始めたきっかけは、音楽家の演奏姿をステージの袖から見て魅了されたこと。その頃は、音楽家が「作品」になるなんて誰も思わない時代でしたが、一瞬のすごい表情は作品になると思った。そこで関係者と交渉して、ステージの反響板の隙間から撮影させてもらいました。シャッター音が演奏の妨げにならないよう、消音カヴァーを自作してね。新しいホールが作られる時、良いアングルで撮れる撮影室を作ってもらうよう、設計者に個人で提案、交渉したことも。人のやらない目標を見つけ、そこへ到達するためにあらゆることを考え、手を尽くす。その蓄積の先に今があります。

うまいけど誰かの真似、最近はそんな写真が多いようです。興味のあることを突き詰めれば、自分だけの目標が見えてくるはず。それをどうやって実現するかを懸命に考えましょう。他人を気にする必要はありません。ただ、スポーツはやった方がいい。撮影や思考に必要な集中力は、身体の鍛錬から生まれます。

それから、学校に設備があれば、ぜひモノクロプリントにも取り組んでみてください。デッサン力、ライティング、フレーミングなど、写真の基礎が着実に身に付きます。

木之下 晃

Profile

（キノシタ・アキラ）1936年長野県生まれ。日本福祉大学卒業。中日新聞、博報堂を経てフリーランスの写真家として活動を開始。1971年に『音楽家一音と人との対話』（自費出版）で日本写真協会賞新人賞受賞。以後、クラシック音楽の世界を中心に撮影。1986年に『世界の音楽家（全3巻）』で芸術選奨文部大臣賞、2005年度日本写真協会賞作家賞、2008年新日鉄音楽賞特別賞などを受賞。2007年紺綬褒章受章。『巨匠カラヤン』など、写真集、展覧会多数。日本福祉大学客員教授。

情報ひろば

FRIEND'S EYE

読者の皆さんと編集部が一緒につくる、フレンズアイ。
カメラ関係のお役立ち情報に、読者の主張、写真についての疑問質問、写真展告知など、なんでもアリ。皆さんの情報提供、待ってます！

元気な先輩に出会いたい！

PhotoPhoto OB/OG訪問！

「PhotoPhotoSalon」で栄冠を手にした先輩たちの、ホットな「今」をご紹介。
数年後のキミがここにいる！？

写真スタジオ勤務（アシスタントフォトグラファー）

中村千咲さん

（第132回フォトフォトサロン入選：香川県立坂出高等学校OG）

2011年4-5月号出演 榊原佳恵さんからのご紹介！

カメラの使い始めは小学時代、両親との山登りで撮った風景写真。将来は写真の仕事に！と10代初めに気持ちを固め、今は厳しい職場に身を置きながら、なりたい自分に向かって着実に歩いています！

写真部はどんな感じでしたか？

前から好きだった写真を高校でもやるぞ！と勇んで入った写真部。最初はみんなマイペースでやっていたけど、3年目に赴任された顧問の先生がすごく熱心で、部員の一体感も増していきました。コンクールには積極的でしたが賞はなかなか撮れず、2年でやっとフォトフォトに入選した時の気分は最高でした。写真の全国大会でトップアイ常連校の人達と知り合えたのも嬉しかったな。その中の何人かとは今でも友達です。私が入選した回にTopEye賞を獲った榊原さんとは大学で再会して、大事な仲間になりました！

その後の進路についてお聞かせください！

日藝に進学したのは、4年間じっくり学びたかったのと、卒業生の方々の作品が自分に近い気がしたから。大学の仲間は個性が強い人が多く、一緒にたくさん旅行したり、楽しかった。授業ではあらゆるジャンルの写真について学びますが、中でも興味を持った広告写真の道に進もうと決めました。広告会社の試験を受け、アシスタントフォトグラファーとして入社。毎日怒られながら、スタジオワークからカメラの使い方、撮影準備、ライティングなど、たくさんの技術や知識を必死に覚えた2年間でした。転機は、高校時代から憧れていたフォトグラファーのスタッフ募集を知ったこと。ゆくゆくは独立するつもりなので、フリーの人についていろんな経験をしたいと、思い切って応募しました。

現在のお仕事、忙しそうですね。

忙しいです（笑）。でも以前より仕事の幅が広がり、とても勉強になってます。事前の打合せ参加から編集者とのやりとり、納品まで。撮影の補助は失敗できないので、脳内予行演習を何度もやって、すごく緊張して臨みます。自分の時間は少ないけれど、やりがいは大きいですね。貴重なお休みには友達に刺激をもらったり、自分の作品づくりに取り組んだり。好きな風景写真の他、事務所のスタイリストと組んでファッション寄りの作品も撮っています。

では、後輩たちにメッセージを！

上手、ヘタなんて気にせず、新しいことに挑戦しながら、撮りたいものをドンドン撮りましょう。それから、あなたが今「好きなこと」を大切に。一所懸命になれることがあるのはとても幸せですし、それが将来の仕事になろうと趣味になろうと、必ず支えになってくれると思いますよ！

先輩アシスタントに学ぶこともたくさん！！

熊野の山中で撮影。A3の写真を貼り合わせた5m×3mの巨大な作品です。

写真教室レポート　D7000で、仲間と楽しく脱みがき！

TopEye出張デジタル写真ゼミ in 沼津　11/12 沼津市民文化センター

富士山を望む静岡県沼津市に、写真に燃える高校生たちが集結っ！今回は本誌「デジタル写真スクール」の斉藤勝則先生を講師に迎えてのみっちりメニュー。思い思いの感性を発揮して盛り上がった一日でした！

参加校10校、64名のマンモス講座！

県立沼津中央高等学校/県立伊東高等学校/県立沼津西高等学校/県立沼津商業高等学校/県立吉原高等学校/日本大学付属三島高等学校/加藤学園高等学校/飛龍高等学校/星陵高等学校/県立下田高等学校

写真教室

斉藤先生の熱血授業に、フムフム。

撮影体験

ニコンD7000を持って、GOGO！撮影体験！

プリント実習

でっかくプリントすると、やっぱイイよね！

講評会

班の代表作品を、斉藤先生がアツくやさしく講評！

あなたの街にも出張します！

参加校募集

内　容：デジタル写真講座、デジタル一眼レフ撮影体験、プリント実習
対 象 者：中学・高等学校の写真部員（写真部に準ずる部も可）および顧問の先生
調 習 日：ご相談のうえ決定させていただきます。
講習時間：午後1時～午後5時または午前10時～午後3時（予定）
講習会場：ご希望の地区で、プロジェクタを使用できる会場をご用意ください。
使用機材：デジタル一眼レフカメラ、プリンター　協力予定：エプソン販売（株）※機材はこちらでご用意します。
参加人数：20～40名（参加者多数の場合はご相談ください。）
※複数校合同・都道府県高写連単位でのお申し込みも可能です。

お問い合わせ　ニコントップアイ編集部（株式会社ニコンイメージングジャパン）　E-mail:topeye@nikonoa.net

2月はみんなで横浜へ!!

CP+ CAMERA & PHOTO IMAGING SHOW 2012

カメラと写真の総合展示会「CP+（シーピープラス）」が今年も横浜で開催！ニコンブースでは、最新カメラの体験コーナーや有名写真家のトークショー、「フォトフォトサロン」の入賞作品展示など、盛り上がって行きますよ！必見の4日間を見逃すな！

日時　2月9日（木）～12日（日）
10:00～17:00（最終日は16:00まで）
会場　パシフィコ横浜（横浜市西区みなとみらい1-1-1）展示ホール、アネックスホール

「日韓高校生写真交流の集い写真展」

日本と韓国の高校生が写真を通してコミュニケーションするこのイベントも、はや7回。今年腕を競い合った高校生たちの作品を展示します。国を越えた感性の響き合いに、ゲンキとシゲキをもらおうよ！

全国高等学校文化連盟 写真専門部
日韓高校生写真交流の集い 写真展
2月14日（火）～20日（月）ニコンサロンbis新宿
10:30～18:30（最終日は15:00まで）
2月23日（木）～29日（水）ニコンサロンbis大阪
10:30～18:30（最終日は15:00まで）

Nikon News

第59回 ニッコールフォトコンテスト「U-31」部門に TopEye賞受賞者3人が入賞！

11月4日に東京都内で開かれた授賞式

今年もやったよ！若者限定「U-31」部門に、2010年度フォトフォトサロン TopEye賞の3人が入賞。さっそく喜びの声を寄せてくれました！

大西みつぐ先生から

今回受賞の皆さん、技術は年上の人々に引けをとりません。でももう少し、ぐいぐい前に出る強さが欲しい。これから世界を広げる中でどんな展開を見せてくれるか、期待していますよ！

2度目の準特選、感激です！これからもいい写真を撮りたいです。

ありがとうございます！仕事も写真も、楽しく頑張っていきます。

嬉しさと感謝でいっぱい。これからも心温まる写真を目指します。

準特選「Change！」渡辺真友さん（第155回TopEye賞）

入選「あのね…」中村真央さん（第158回TopEye賞）

入選「寄り道」黒岩乃菜さん（第157回TopEye賞）

前号「ガンバレ写真部！」出演 水城高等学校の村山くんも見事入選！

U-31部門の入賞作品展を年明けに開催！
1月5日（木）～16日（月）：ニコンサロンbis新宿
2月9日（木）～22日（水）：ニコンサロンbis大阪
下段のニコンサロンインフォメーションをcheck！

2011年度「TopEyeフォトフォトサロン年度賞」次号で決定！

ラストスパート大募集！

2011年度最終締切 1/10（火）

フォトフォトサロンもいよいよ大詰め。次号で、各校対抗の「年度賞」が決定するよ！今回はいつにない混戦模様。今からでも上位入賞が狙えるかも！？さあ、部の力を結集して頑張ろう！

上位校賞品は

ニコン デジタルカメラ ＆ エプソン プリンター ＋ 東京で開催の表彰式にご招待！！

復習！応募時の注意

- **用紙・サイズ確認をしっかり！** 厚手の写真用紙を使って、プリントサイズは［キャビネ・2L判以上、四つ切・A4サイズまで］。組写真も1枚ごとにこのサイズだよ！
- **応募は未発表作品のみ！** 文化祭や校内展など、校内発表のみの作品はOK。
- **二重応募はダメ！** 他のコンテストに出品した作品は審査対象にできません。
- **肖像権・著作権に注意！** 人物や誰かの著作物を撮影した作品は、その方の了解を得て応募してね！
- **応募用紙は最新版を！** 本誌最新号に同封の用紙（コピー可）や、トップアイWEBサイトからダウンロード！
- **応募用紙の記入漏れに注意！** 「カメラ機種名」や「撮影データ」も忘れないで！
- **早めに送ろう！** 郵便なら1～2日、メール便だと中4日ほどかかる場合あり。締切日ギリギリにならないよう、余裕をもって送ってね！

皆さんの投稿歓迎!!

投稿の際には忘れずに書いてね！
①学校名・クラブ名　②あなたの住所　③氏名
④電話番号　⑤使用可能なメールアドレス

宛先 〒104-0045 東京都中央区築地 1-5-11 築地 KB ビル 4F
（株）アドバタイズ　TopEye 編集部宛
FAX（03）5148-0566　E-MAIL topeye@nikonoa.net

掲載者には、記念品をプレゼント！

Nikon Salon Information

http://www.nikon-image.com/activity/salon/

銀座ニコンサロン
（03）5537-1469
10:30～18:30（最終日は15:00）

- 久保正彦「その先に見えるもの」 12/7 ～ 12/20
- 大沼英樹「それでも咲いていた 千年桜」 12/21 ～ 12/29
  （12/30～1/4 年末年始休館）
- 樋口 徹「五冊の余熱」 1 / 5 ～ 1/17
- HOWARD WEITZMAN「FACING SHIBUYA」 1/18 ～ 1/31
- 今岡昌子「トポフィリアー 九州力の原像へ」 2 / 1 ～ 2/14
  （会期中2/4・5休館）
- 原 芳市「光あるうちに」 2/15 ～ 2/28

新宿ニコンサロン
（03）3344-0565
10:30～18:30（最終日は15:00）

- 小松 透「nature morte -aprés 311-」 12/13 ～ 12/19
- Juna21 高橋尚子「景色は私に吸いつくか」 12/20 ～ 12/29
  （12/30～1/4 年末年始休館）
- 第59回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展 第2部カラー 第3部ネイチャー 1 / 5 ～ 1/16
- 宮嶋康彦「東京起源」 1/17 ～ 1/23
- Juna21丸山勇樹「光野」 1/24 ～ 1/30
- フォトシティさがみはら2011 プロの部入賞作品展 1/31 ～ 2/13
  （会期中2/11・12休館）
- 日本カメラ社「2011日本カメラフォトコンテスト展」 2/14 ～ 2/20

ニコンサロンbis新宿
（03）3344-0565
10:30～18:30（最終日は15:00）

- 小川照夫「メッセージ」 12/13 ～ 12/19
- Juna21 大坪 晶「Shadow in the Mirror」 12/20 ～ 12/29
  （12/30～1/4 年末年始休館）
- 第59回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展 第1部モノクローム 第4部U-31 1 / 5 ～ 1/16
- 米山悦朗「風に吹かれて―モンゴルの草原から―」 1/17 ～ 1/23
- Juna21 田中雄一郎「大サンパウロ」 1/24 ～ 1/30
- フォトシティさがみはら2011 プロの部入賞作品展 1/31 ～ 2/13
- 全国高等学校文化連盟「日韓高校生写真交流の集い写真展」 2/14 ～ 2/20

大阪ニコンサロン
（06）6348-9698
10:30～18:30（最終日は15:00）

- 橋口譲二「Hof ベルリンの記憶」 12/8 ～ 12/21
- 阿部直樹「壁」 12/22 ～ 12/29
  （12/30～1/4 年末年始休館）
- 第36回伊奈信男賞受賞作品展 李 尚一「光州 望月洞」 1 / 5 ～ 1/11
- 三木淳賞奨励賞受賞作品展 藤原拓也「スポーツ絵巻物」 1/12 ～ 1/18
- 秋山武雄「昭和三十年代　瞼、閉じれば東京セピア」 1/19 ～ 1/25
- 樋口 徹「五冊の余熱」 1/26 ～ 2 / 1
- 大阪芸術大学写真学科2011年度卒業制作選抜展 2 / 2 ～ 2 / 8
- 第59回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展 第2部カラー 第3部ネイチャー 2 / 9 ～ 2/22
  （会期中2/18・19休館）

ニコンサロンbis大阪
（06）6348-9698
10:30～18:30（最終日は15:00）

- 山本富久「The messages of the Rocks「妖怪」」 12/15 ～ 12/21
- 梅辻敦子「街（予感）」 12/22 ～ 12/29
  （12/30～1/4 年末年始休館）
- 第13回三木淳賞受賞作品展 添田康平「Not yet refugees」 1 / 5 ～ 1/11
- 三木淳賞奨励賞受賞作品展　吉原かおり「よびみず」 1/12 ～ 1/18
- 関西スポーツ紙写真部長会「関西スポーツ紙カメラマン写真展」 1/19 ～ 1/25
- 日本写真映像専門学校卒業制作選抜展 1/26 ～ 2 / 1
- 宝塚大学写真コース卒業制作展＋写真コースOB作家展（仮） 2 / 2 ～ 2 / 8
- 第59回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展 第1部モノクローム 第4部U-31 2 / 9 ～ 2/22
  （会期中2/18・19休館）

スケジュールは変更になる場合があります。詳しくは各サロンにお問い合わせください。

見てね！ネットでもTopEye

TopEye誌面のダウンロードや、フォトフォトサロン受賞作品の鑑賞ができます。
URL：www.nikon-image.com から「写真文化活動」>「写真部応援マガジン TopEye」へどうぞ！

『Top Eye』へのお問い合わせはこちらまで。
ニコントップアイ編集部（株式会社ニコン イメージング ジャパン）
E-mail：topeye@nikonoa.net
TEL：03-3769-7960